

平成29年度

事業報告書

公益財団法人 福島県保健衛生協会

## 平成29年度事業報告書

東日本大震災と原発事故から7年が経過し、避難者数の減少や避難指示区域の解除が進んでいる。しかし、福島県民の健康保持増進については、避難生活の長期化や生活環境の変化などに伴い、健康指標の悪化が課題となっている。

当協会は、疾病の予防、健康の保持及び増進、並びに生活環境の保全を図るために必要な事業を行い、もって公衆衛生の向上と地域社会の健全な発展に寄与することを目的として設立された。当協会としては、このような時代にこそ、基本理念である「健診・検査事業を通して県民の健康と明るく豊かな暮らしを守ること」を達成するため、総合的健診機関としての特性を生かして時代に即応した予防医学の推進に引き続き取り組む必要がある。

このため、県、県立医科大学、県医師会などのご指導のもと、市町村、各医療保険者、関係団体等と協力・連携を図りながら、今まで以上に公益性の高い事業を推進させ、協会職員一丸となって以下の項目について積極的に取り組んだ。

- (1) 県民の健康づくりを通じた復興・創生への支援
- (2) 特定健康診査及びがん検診等の受診率向上を目的とした健康増進・普及啓発活動の推進
- (3) 県民の要請に応えるための健診・検査事業の展開
- (4) 特定保健指導の拡充と各種健康づくり事業の展開
- (5) 人間ドックの拡充とサービス向上
- (6) 県民の快適な生活環境、食の安全・安心の確保、放射能測定業務への積極的取組
- (7) 胸部・胃部検診車のデジタル化促進及び最新のマンモグラフィ機器の導入による精度の向上と維持管理

## 1. 協会の運営

### (1) 役員会等の開催

- |  |     |
|--|-----|
| ① 理事会  | 2 回 |
| ・ 第 12 回理事会（平成 29 年 5 月 24 日）<br>平成 28 年度事業報告及び決算報告の承認について<br>評議員会の招集決定について<br>胸部検診車整備に関する助成について                                     |     |
| ・ 第 13 回理事会（平成 30 年 3 月 22 日）<br>平成 29 年度収支予算の補正について<br>平成 30 年度事業計画及び収支予算について<br>専務理事の選定及び報酬について<br>評議員選定委員会委員の選任について               |     |
| ② 監事会  | 1 回 |
| ・ 平成 29 年 5 月 17 日   |     |
| ③ 評議員会   | 1 回 |
| ・ 平成 29 年 6 月 14 日<br>平成 28 年度事業報告及び決算報告の承認について<br>理事の選任について<br>監事の選任について<br>役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程の改訂について<br>平成 29 年度事業計画及び収支予算について |     |
| ④ 評議員選定委員会   | 1 回 |
| ・ 平成 29 年 5 月 10 日   |     |
| ⑤ がん基金審議会  | 1 回 |
| ・ 平成 30 年 2 月 28 日   |     |

(2) 専門委員会の開催

- |                   |    |
|-------------------|----|
| ① 消化器集団検診精度管理委員会  | 1回 |
| ② 子宮がん検診精度管理委員会   | 1回 |
| ③ 肺がん集団検診精度管理委員会  | 1回 |
| ④ 循環器集団検診精度管理委員会  | 1回 |
| ⑤ 学校保健集団検診精度管理委員会 | 1回 |
| ⑥ 乳がん集団検診精度管理委員会  | 1回 |

(3) 上部団体並びに関係団体との会議及び大会

- ① 公益財団法人日本対がん協会 がん征圧全国大会及び全国支部長会議  
(平成 29 年 9 月 7 日・8 日 於 石川県)
- ② 公益財団法人予防医学事業中央会 全国大会及び全国運営会議  
(平成 29 年 10 月 26 日・27 日 於 千葉市)
- ③ 公益財団法人結核予防会 東北・北海道ブロック会議  
(平成 29 年 10 月 5 日 於 秋田市)
- ④ 公益財団法人予防医学事業中央会 東北ブロック会議  
(平成 29 年 10 月 20 日 於 仙台市)
- ⑤ 東北 6 県検診機関懇談会  
(平成 29 年 10 月 19 日 於 仙台市)
- ⑥ 公益財団法人日本対がん協会 東北・北海道ブロック会議  
(平成 29 年 11 月 9 日・10 日 於 青森市)

(4) 関係機関との会議及び打合せ

- ① 市町村・郡市医師会健診事業関係会議
- ② 健康保険組合連合会合同事務打合せ会議

(5) 平成 29 年度楠賞及び本会永年勤続職員表彰式

(平成 29 年 11 月 22 日 本会会議室)

(6) 平成 29 年度委嘱員（保健師・看護師等）事業功労表彰式

(平成 30 年 2 月 15 日 福島市)

## 2. 普及・啓発活動

### (1) 健康教育

県民がすべてのライフステージにおいて、健康で活力あふれる生活が送れるよう、提携団体や市町村が主催する健康づくり事業等に協賛し、医師・保健師・管理栄養士・運動指導士等を派遣するとともに、関係資料の提供や啓発資材の貸し出しを行い、健康に関する思想の普及・啓発活動に努めた。

#### <健康教育研究会>

平成 29 年 9 月 27 日ビックパレットふくしまにおいて、「慢性に経過する腎臓病を未然に防ぎふくしまを元気にする」をテーマに、当協会鈴木順造理事と県立医科大学医学部生活習慣病・慢性腎臓病（CKD）病態治療学講座 旭 浩一特任教授による講演を開催した。これは市町村及び保健所、健康保険組合の担当者をはじめ事業所の衛生担当者を含めた多くの方々を対象とした講演会であり、腎臓病対応という面から健康に対する知識の提供を行った。

### (2) 健康集会

福島県健康を守る婦人連盟との共催で、県内 4 方部（伊達市、須賀川市、南会津町、南相馬市）で各地区婦人会組織を対象とした健康集会を開催した。

### (3) 街頭キャンペーン

「結核予防週間」と「がん征圧月間」にあわせて、結核とがんの予防思想の普及・啓発のためのキャンペーンを行った。これには福島県健康を守る婦人連盟も共催の形で参加した。

### (4) 広報・普及事業

① 「結核予防週間」、「がん征圧月間」、「健康増進普及月間」に合わせ、新聞などの広報媒体を通じて、疾病予防に関する知識の普及に努めた。

また、収集したデータを基に分析した研究成果を、ホームページ等を通じて広く一般に公表した。

② 平成 29 年 10 月 7 日から 2 日間にわたり、福島市のとうほう・みんなのスタジアムで開催された「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2017 福島」に参加し、骨密度測定や展示ブースの設置、さらには参加者が横断幕を持って歩き続けることにより、がん検診受診率向上へのアピールを行った。

- ③ 平成 29 年 7 月 1 日から 9 月 30 日の 3 か月間、福島県の肝炎予防を目的とした普及啓発に協力し、9 市（福島市、伊達市、二本松市、田村市、須賀川市、会津若松市、南相馬市、相馬市、いわき市）において、集団検診会場にリーフレット及びポケットティッシュを設置し、肝炎ウイルス検査の受診勧奨を図った。

#### (5) 共催・協力事業

- ① 平成 29 年 5 月 14 日に福島市東口駅前広場で、第 2 回目の開催となった福島市主催の「福島市ピンクリボンキャンペーン」に参加し、リーフレット及び啓発グッズを配布し、乳がんの早期発見・早期治療の重要性を訴えた。
- ② 平成 29 年 6 月 3 日から 2 日間にわたり、J R 白河駅前イベント広場で開催された「ご当地キャラこども夢フェスタ in しらかわ 2017」において、チャレンジふくしま県民運動推進協議会に協力し、骨密度測定や各種疾病等に関する普及啓発冊子を配布した。
- ③ 平成 29 年 9 月 24 日に福島市の MAX ふくしまアオウゼで開催された、福島市主催の「福島市健康フェスタ 2017」に参加し、骨密度測定や各種疾病等に関する普及啓発冊子の配布を行った。
- ④ 平成 29 年 10 月 1 日に福島県医師会館で開催された福島県医師会主催の「健康づくりフェスティバル」に参加し、血圧測定や骨密度測定などの健康度測定コーナーや保健師による健康相談コーナーを開き、健康管理の重要性について情報提供を行った。
- ⑤ 平成 29 年 10 月 14 日から 2 日間にわたり、福島市の県営あづま総合体育館で開催されたチャレンジふくしま県民運動推進協議会主催の「チャレンジふくしま県民運動フェスタ 2017」等に参加し、骨密度測定や乳がん検診自己検診法のブースを出展することにより健康情報の普及啓発を行った。
- ⑥ 平成 29 年 10 月 22 日に郡山市の星総合病院メグレスホールにて開催された「ピンクリボン in 郡山 2017」に参加し、当協会保健師による乳がん自己検診法の講話を行い、マンモグラフィ搭載乳がん検診車の展示により普及啓発を図った。

- ⑦ 平成 29 年 10 月 29 日にいわき市のイトーヨーカドー平店で開催された福島県主催の「がんばるぞうフェスタ in いわき」いわき乳腺疾患研究会に協力し、乳がんに関する資材の貸し出しや、リーフレットの配布を行った。
- ⑧ 平成 30 年 2 月 24 日にいわき市のいわき市立総合体育館で開催されたチャレンジふくしま県民運動推進協議会主催の「よしもと×ふくしま みんなでチャレンジ大運動会 in いわき市立総合体育館」に協力し、骨密度測定や各種疾病予防等に関する普及啓発冊子の配布を行った。
- ⑨ 平成 30 年 3 月 4 日に郡山市のビッグパレットふくしまで開催された県立医科大学健康増進センター主催の「いきいき健康づくりフォーラム」に参加し、タバコ・喫煙による影響を測定する検査や、その他の各種疾病予防等に関する普及啓発冊子の配布を行った。
- ⑩ 平成 29 年 7 月 7 日から 19 日の 13 日間、福島県の健康長寿ふくしま推進事業「ふくしま健民パスポート事業」に協力し、スマートフォンのアプリケーションに健康に関する質問コーナーを設け、回答者には当協会の CT 検査割引券を贈呈し、健診受診に対する意識の高揚を図った。
- ⑪ 平成 29 年度に福島県地域創生総合支援事業に健康枠が追加され、福島県健康を守る婦人連盟の「健康長寿は家庭から」という推進事業が採択された。当協会もこの事業に賛同し、健康に関する講演会の開催に協力するとともに、冊子「健康づくりセレクション」を活用し、広く健康に関する知識の普及啓発を行った。

### 3. 県民健康調査「健康診査」の実施

東日本大震災後、福島県及び県立医科大学が実施する県民健康調査の「健康診査」に協力し、関係団体との連携を密にすると共に、避難区域等住民に対して健康診査を実施した。また、同時に県内医療機関で実施している「健康診査（個別健診）」の結果処理や電子データの作成に協力した。

#### 4. 健（検）診・検査事業

疾病の予防、健康維持増進を願う県民の要望に応えるため、県、市町村、事業所等からの委託を受けて健（検）診・検査を実施した。

特定健診、特定保健指導では、市町村国保、共済組合、健康保険組合等と連携を図りながら受診率の向上等に努めた。特に、地域検診における慢性腎臓病（CKD）対策を目的とした尿中微量アルブミン検査の全市町村への導入を目指し、検査料金を改訂して積極的な渉外活動を行った。あわせて昨年度より取り組みを強化している推定食塩摂取量の導入についても推進した。

がん検診においては、関係機関との連携を図り受診率や利便性の向上に努めてきたが、胃がん検診においては、昨今の内視鏡検査の普及等により受診者数が減少し、無料クーポンが縮小された子宮がん検診においても受診者数が減少傾向にあった。著名人が罹患して話題になった乳がん検診及び大腸がん検診においては、前年度に引き続き行政と協同のもと受診勧奨に努めたが、受診者数の増加には至らなかった。

胸部エックス線検査のデジタル化については、今年度作成した2台をもって全ての胸部検診車にデジタル撮影装置が搭載され、県内全域において実施が可能となった。各郡市医師会で行っている読影についても体制が確立されたことから、新たに胸部デジタル料金を設定した。

今年度はこれら各種健（検）診における受診率を向上させ、疾病の早期発見・早期治療に繋げることを目的に、未受診者対策のためのアンケート調査を市町村と共同で5,325名に実施した。その内3,387名から回答を得ることができたため、現在、内容を集計・精査しているため、今後の未受診者対策に活かして行きたい。

	(29年度実績)	(28年度実績)
(1)結核検診		
① 学校保健	17,929人	(19,285)人
② 地域検診	80,742人	(80,214)人
③ 労働衛生		
ア 間接撮影	17,864人	(16,307)人
イ 直接撮影・デジタル	1,112人	(440)人
④ 精密検診		
ア 精密検診	0人	(0)人
イ 直接撮影	0人	(0)人
(2)胃がん検診		
① 地域検診	41,602人	(45,517)人
② 労働衛生	34,630人	(35,901)人



(3)子宮がん検診

① 子宮がん車輻検診

ア 地域検診	18,969 人	20,802 人
イ 労働衛生	4,533 人	4,719 人

② 子宮がん施設検診

ア 地域検診	44,708 人	(46,140)人
イ 労働衛生	1,400 人	(1,356)人

③ 子宮体がん施設検診

	90 人	(89)人
--	------	-------

④ 子宮がん施設精密検診

ア 組織診検査	649 人	(598)人
イ 細胞診検査	2,031 人	(1,779)人

(4)肺がん検診

① 地域検診

ア 肺がん検診 (喀痰)	5,862 人	(6,299)人
イ 肺がん検診 (肺野部)	114,345 人	(117,001)人

② 労働衛生

ア 肺がん検診 (喀痰)	1,993 人	(2,021)人
イ 肺がん検診 (肺野部)	55,114 人	(59,093)人

(5)乳がん検診

① 地域検診

	18,067 人	(19,334)人
--	----------	-----------

② 労働衛生

	3,627 人	(3,172)人
--	---------	----------

(6)大腸がん検診

① 地域検診

	81,495 人	(83,744)人
--	----------	-----------

② 労働衛生

	41,064 人	(41,136)人
--	----------	-----------

(7)特定健康診査

① 地域検診

	81,226 人	(84,043)人
--	----------	-----------

② 労働衛生

	709 人	(766)人
--	-------	--------

(8)骨粗鬆症検診

① 地域検診

	12,751 人	(12,838)人
--	----------	-----------

② 労働衛生

	1,319 人	(1,320)人
--	---------	----------

(9)臨床検査

① 学校保健

ア 寄生虫検査	3,257 件	(4,223)件
イ 尿検査	134,254 件	(151,021)件
ウ 心電図検査	73,777 件	(74,231)件
エ 血液検査	32,343 件	(24,578)件
オ その他の検査	15,245 件	(15,585)件

② 地域検診

ア	血液検査	233,364 件	(211,740)件
	P S A検査	29,441 件	(30,447)件
イ	健康診査	38,494 件	(37,638)件
ウ	県民健康調査 (健康診査)	30,560 件	(31,440)件
エ	その他の検査	117,341 件	(97,006)件
③	労働衛生		
ア	心電図検査	60,555 件	(61,673)件
イ	眼底検査	39,918 件	(40,687)件
ウ	尿検査	24,668 件	(41,542)件
エ	血液検査	215,361 件	(219,519)件
オ	健康診断	89,175 件	(74,139)件
カ	血圧測定	18,978 件	(36,555)件
キ	聴力検査	51,690 件	(51,610)件
ク	健康保持増進事業	0 件	(55)件
ケ	その他の検査	144,958 件	(118,121)件
④	特殊検診		
ア	有機溶剤健診	8,036 件	(8,187)件
イ	鉛健康診断	414 件	(502)件
ウ	じん肺健康診断	325 件	(326)件
エ	騒音健康診断	663 件	(675)件
オ	VDT 健康診断	4,064 件	(4,344)件
カ	その他の検査	4,896 件	(4,625)件
⑤	保菌検査	16,796 件	(16,712)件
⑥	医療機関からの受託検査		
ア	一般臨床検査	1,103 件	(8,079)件
イ	病理組織検査	2,153 件	(2,084)件
ウ	細胞診検査	25,483 件	(25,467)件
⑦	母子保健		
ア	先天性代謝異常検査	15,768 件	(16,709)件
(10)	口腔健康診査		
①	地域検診	851 件	(601)件
②	労働衛生	7 件	(8)件
(11)	健康づくり事業		
①	健康づくり事業	117 件	(119)件
②	総合健康管理受託事業	9 件	(8)件
(12)	理化学分析事業		
①	水質検査	8,482 件	(8,467)件
②	大気測定	538 件	(556)件

③ 食品検査	8,801 件	(8,879)件
④ 環境衛生	5,334 件	(5,597)件
⑤ 環境調査	2 件	(2)件
⑥ 作業環境測定	250 件	(217)件
⑦ 放射能測定業務	4,017 件	(4,416)件

## 5. 複十字シール運動

結核予防思想の普及と、結核及び肺がんの根絶を目的とした事業資金確保のために、関係機関の協力を得て「複十字シール募金運動」を展開し、下記の成果を得た。

運動期間	平成 29 年 8 月 1 日～平成 29 年 12 月 31 日
募金実績額	2,870,259 円
(募金目標額	3,500,000 円)

## 6. がん基金事業

がん基金事業として、がん予防対策のための思想普及・啓発事業（啓発冊子の作成、新聞広報等）及びがん予防思想普及団体への助成を実施した。

なお、平成 29 年度末におけるがん基金造成額は、267,645,587 円である。

## 7. 総合健診センターの運営

人間ドックや協会けんぽの生活習慣病健診および婦人科検診を実施し、さらに人気の高い当施設における市民健（検）診の受診可能日数を拡充するなど健（検）診内容の充実を図り、地域住民、被保険者および被扶養者の健康保持・増進の支援に努めた。また、乳腺外来を始めとする各種専門外来による二次精検を積極的に行うとともに、より鮮明な画像による乳がん検診を実施することを目的に、最新の 3Dマンモグラフィ装置を導入し、3D撮影を 256 人に実施した。なお、同装置を使用した乳がん検診は、2D撮影で行い、前年比 231 人増の 3,846 人を実施した。採血による新規の検査項目として導入した脳梗塞・心筋梗塞のリスクを知るためのロックス・インデックス（LOX-index）の実施は 362 人であった。

	(29 年度実績)	(28 年度実績)
① 人間ドック	3,767人	( 3,662人)
② 結核検診	0人	( 10人)

③ 二次精検	714人	( 715人)
④ 健康診断	5,761人	( 5,309人)
⑤ 予防接種等	1,923人	( 2,331人)

## 8. 健康管理・健康支援事業

各種集団検（健）診事業における事後管理指導については、要精密検査者への受診勧奨に重点を置き、市町村保健師はもとより、特に職域の検（健）診担当者等と連携して、更なる検（健）診受診率及び要精密検査受診率の向上を目指し、受診勧奨を行った。また、精密検査の統集計を迅速に行い、県、市町村、事業所の求めに応じ適切な資料の提供をした。

特定健診で階層化された対象者に対する特定保健指導は、近年増えている国保の利用者向けに低強度の運動メニューを開発し、新たに1市町村国保の保健指導を受託することで計17市町村国保及び13事業所を実施し、生活習慣予備軍の減少に努めた。

また、当協会の特色を活かした特定保健指導の周知を積極的に行う他、各保険者とともに実施率を上げるための対策を行った。

健康支援事業としては、ふくしま自治研修センターより「体の健康」講座を受託し、県内自治体職員に対し、バランスのとれた食事についての講演を行った。

また、健康相談及び保健・栄養・運動の各種講演やイベントでのスタッフ派遣要請に応じた。最近の傾向としては、メンタルヘルス関係の講演依頼が増えてきているので、「こころの健康」についての研修を受託し、心の健康管理を中心とした講演を行った。

その他、福島県が実施する地域啓発活動研修事業である「検診からはじまる健康安心復興事業」に協力し、福島県がん検診推進員を育成した。

## 9. 調査研究・研修

職員の資質向上と技術の習得のため、全国規模の技術研修会・大会、学術研修会等に参加させるとともに、学会発表等を積極的に行い資質の向上と専門技術の研鑽に努めた。

## 10. 施設・設備の整備

(1) 建物の整備		1,170,000 円
① 会津地区センター屋根・階段塗装工事	1 式	
(2) 構築物の整備		2,400,000 円
① 細胞診センター高圧受電設備改修工事	1 式	

(3) 検診車及び車両関係の整備		76,552,016 円
① デジタル胸部検診車	2 台	
② 検体運搬車他	3 台	
	他 2 件	
(4) 検診・検査機器等の整備		70,414,737 円
① サーバー容量増設	1 台	
② 無散瞳デジタル眼底カメラ	3 台	
③ 解析装置付心電計	5 台	
④ コンパクト視力計	3 台	
⑤ 聴力計	3 台	
⑥ V D T 近点計	1 台	
⑦ システム生物顕微鏡	1 台	
⑧ デジタル乳房 X 線発生装置	1 式	
⑨ マンモグラフィビューワ端末	1 式	
⑩ 飲料水自動分析計	1 台	
⑪ 水銀自動分析計	1 台	
⑫ 作業環境測定用装置	1 台	
⑬ 抽出液濃縮装置	1 台	
⑭ デジタル画像システム	1 式	
⑮ 遠隔読影用端末	3 台	
⑯ 医療用液晶モニター	1 台	
⑰ 検体・試薬保存用冷蔵庫	1 台	
⑱ 細菌検査自動同定感受性検査装置 (中古)	1 台	
	他 2 件	
(5) ソフトウェア		4,810,900 円
① 保健指導プログラム開発費用	1 式	
② マンモグラフィビューワソフト	1 式	
	他 2 件	

## 平成29年度がん基金特別会計事業報告について

### 1. がん予防思想の普及啓発事業

#### (1) テレビ広報

一般社団法人福島県医師会がん啓発事業への助成

#### (2) 新聞広報

がん予防思想普及啓発について新聞紙面での周知

1) がん征圧月間特集 (民報・民友)

2) 予防思想普及特集 (民報・民友)

※大腸がん検診啓発特集記事の掲載

#### (3) がん検診受診勧奨啓発冊子及び資材の作成・購入

1) がん予防啓発用冊子及びリーフレットの購入

2) 健康教育ライブラリー等普及啓発資材

3) がん検診受診勧奨カレンダー

4) 健康に関する講演会及び啓発活動等における配布物

#### (4) がん予防のための各種イベント等における普及啓発

1) 福島市ピンクリボンキャンペーンへの参加

2) 福島市健康フェスタ 2017 への参加

3) リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2017 福島への参加

4) チャレンジふくしま県民運動フェスタ 2017 への参加

5) がん検診受診勧奨街頭キャンペーンへの参加

6) がん予防・がん検診の集いへの参加

7) ピンクリボン in 郡山 2017 への参加

8) 福島県医師会第 17 回健康づくりフェスティバルへの参加

9) よしもと×ふくしま みんなでチャレンジ大運動会！への参加

10) いきいき健康づくりフォーラムへの参加

### 2. がんに関する調査・研究に対する補助事業

(1) 郡市医師会がん研究事業への助成

(2) 郡市医師会で開催されるがん研究会、講演会等への助成

### 3. がん検診従事者の育成に関する事業

福島県医師会・日本乳がん検診精度管理中央機構共催によるマンモグラフィ読影資格講習会に対する助成

4. がん予防思想の普及啓発を行う団体等に対する補助事業

(1) 日本公衆衛生協会福島県支部への助成

(2) 福島県健康を守る婦人連盟への助成

5. がんに関する情報提供

統計資料「がんのしおり2016・17」の購入

## 平成29年度 保健衛生褒賞基金特別会計について

### 1、岩永賞

「岩永賞」は、本会初代会長であった故岩永幾太郎氏のご遺志による基金をもとに設けられたもので、生活習慣病（成人病）予防事業の推進に顕著な功績があった方に贈られる。

今年度は、当協会の会津地区センター診療所長である吉田眞理先生が受賞した。

吉田先生は、平成22年9月より当協会に勤務され、本会で実施している地域住民及び事業所検診事業に従事し、地域の健康の保持増進に寄与してきた。また、数か所の産業医を受けるなど、本県の予防医学事業に大きく貢献された。

平成29年10月18日（水）杉妻会館で開催された、健康ふくしま21推進県民表彰式において表彰された。

### 2、楠賞

「楠賞」は、故楠信男当協会元会長のご遺志による基金をもとに設けられたもので、地域の保健医療や公衆衛生の分野において、献身的な活動をした方に贈られる。

今年度は、当協会の嘱託医師である松山茂先生が受賞した。

松山先生は、平成22年4月より当協会の県南地区センター嘱託医師として勤務され、本会で実施している地域住民及び事業所検診事業に従事し、県南地区のみならず、広く県民の健康保持に多大な貢献を頂いた。

表彰式は、平成29年11月22日（水）福島県保健衛生協会4階会議室において行われ、当協会の鈴木仁会長が松山先生へ感謝の言葉を述べ、賞状と共に記念品を贈った。